

# 一人でも多くの新規採用を

## 定年延長、制度の運用や職種ごとの働き方を勝ち取ろう

関東甲地連  
現業評議会  
第1回拡大幹事会

8月20日(土) 13時30分 挙に対する取組みお礼等から日本教育会館にて関東甲地連第1回拡大幹事会が開催され、東京清掃からは特別幹事として西村副委員長と清掃部会副議長の私渡辺で参加してきました。

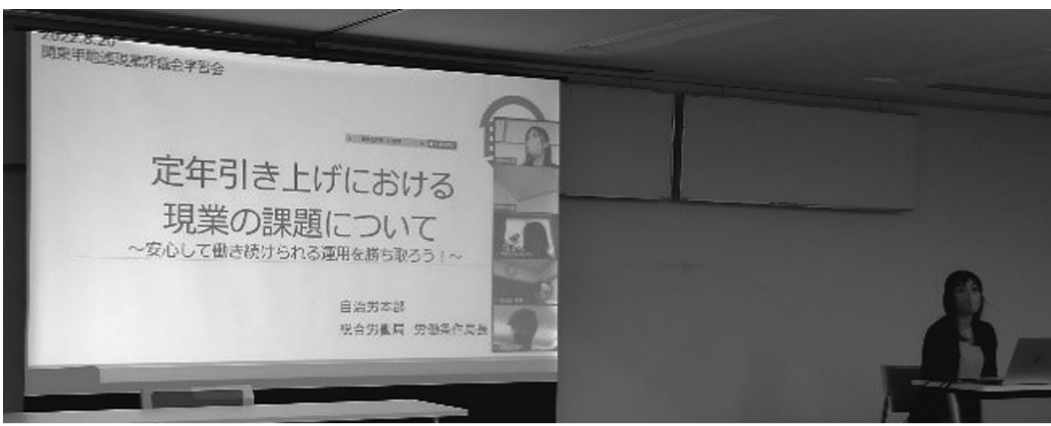
冒頭吉野議長(青梅市職)から、「コロナ禍で奮闘する組合員への敬意と参議院選し、職種ごとの働き方、制度運用等、働く側の視点にたった職場環境の改善を勝ち取って」と挨拶を受けました。

基調講演では、自治労本部総合労働局長の八巻労働条件局長(福島県本部)から「安心して働き続けられる運用を勝ち取ろう!」と題し、定年引き上げにおける現業の課題について話されました。

AIやDXは遅かれ早かれ、清掃職場でも導入されていくかと思っています。今後は、わが組合としても学習する機会を設定し、導



入らむけて準備しておく必要があると考えています。(渡辺 歩)



▲八巻労働条件局長より、あらためて提起を受けた

「安心して働き続けられる運用を勝ち取ろう!」と題し、定年引き上げにおける現業の課題について話されました。

AIやDXは遅かれ早かれ、清掃職場でも導入されていくかと思っています。今後は、わが組合としても学習する機会を設定し、導

# 核兵器のない、平和で公正な世界を

多くの若い世代が核廃絶と平和を願い立ち上がる



▲爆心地公園

原水禁長崎大会

1945年8月9日11時02分、長崎上空に投下された原子爆弾は上空500メートルで閃光した。数百万度に達した火球は、一瞬にして長崎の街を地獄に変え、その下で暮らす15万人の人々を無差別に殺戮した。いまだに放射能による被害で多くの人々を苦しめ続けている。終戦から77年経ったいまでも世界では戦争の暴力が終らない。

原水禁長崎大会では、被爆者の体験談を聞き核兵器の恐ろしさを学んだ。また石

垣島、沖縄、馬毛島で暮らす方々から着々と進む基地化の話聞き、隣国との間で緊張が高まり続けていることを知った。「日本政府は核兵器禁止条約(TPNW)に反対し署名をしない。唯一の被爆国でありながら、米国の核の傘に依存する姿は滑稽である。過去の歴史から何も学ばない政治家がこれ以上増えることは、不幸な歴史を繰り返すことになる。軍は国を守るが私たち国民は守ってくれない」と言った被爆体験者の言葉が深く胸に刺さった。

ロシアによるウクライナ侵攻もそうだが、戦争による一番の被害者はいつの時代も民間人だ。今ある束の間の平和を恒久とするため、過ちを繰り返さないために、若い世代にしっかりと

と引き継ぐことが使命であり責任であると実感した。長崎大会には高校生平和大使をはじめ多くの若い世代が核廃絶と平和を願い立ち上がっていた。芽吹きは確実に起きている。個人の尊厳を守り抜く運動を止めてはならないと決意した長崎大会であった。

(新宿区担当中執 飯山 悟)



▲高校生平和大使一万人署名実行委員会

### 新型コロナウイルス

新型コロナウイルスの影響で生活様式が大きく変化したと言われている中、自分の生活がどう変化したか考えてみました。まず、マスク。以前は冬のインフルエンザが流行する時期もほぼ着用することはなかった。マスクをし始めた時は鬱陶しいと思いつつも、そんな時間がかからず慣れてしま、今では逆にしない違和感を覚えるようになった。次に、行動範囲が狭くなった。以前は仕事を終えたと飲みに行ったり、寄り道をして買い物やパチンコに行ったりしていた。休日も外出することが割とあったと思う。しかし、今は家と職場の往復ばかり、休日も家で過ごすことが多くなった。

▼必然的に新しい刺激も減り、話をする人も限られてきてしまっている。自分の世界が狭くなっているような気がして、漠然とした不安を覚える。いずれにしても、一日も早くコロナが収束し以前の生活に戻れることを願わずにはいられない。

(文京区担当中執 松澤 貴広)

## 年金等の基礎知識学習会 および相談会のお知らせ

中央労働金庫の担当者の方を講師に招き年金セミナーを開催します。終了後には個別相談も出来ます。参加希望者は支部執行委員を通して申し込みください。

第1回 9月16日(金) 17:30から  
退職金の運用等(セカンドライフ)について

第2回 9月30日(金) 17:30から  
年金について

場 所 SKホール地下会議室

年金等の基礎知識学習会